

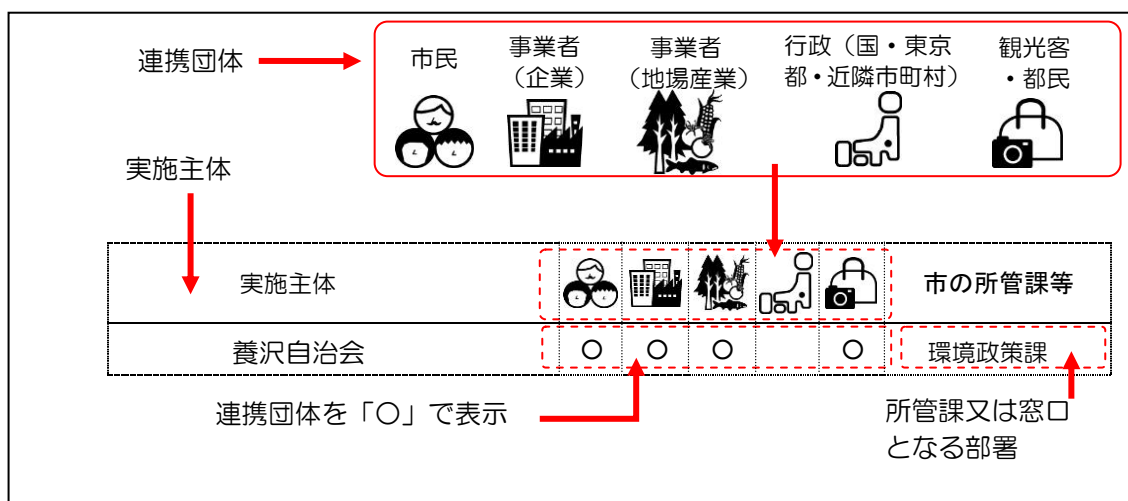
V 地域別の現状及び地域連携保全活動の実施内容

ここでは、「Ⅱ 基本的な考え方」の計画区域に示した地域区分ごとに、地域の望ましい姿と現状、取組の方向性を示し、望ましい姿の実現に向けて実施する取組（地域連携保全活動）の具体的な内容を示します。

取組（活動）については、実施場所、実施主体、連携団体、実施内容を併せて示しています。

また、実施主体や連携団体については、分かりやすく示すため、次のような形式で記載しています。

【各地域における取組（活動）の記載例】



1 上養沢地域

＜上養沢地域の望ましい姿＞

豊かな自然林が様々な生きものの生息・生育場所となり、奥山の自然環境として多様な主体により適切に維持管理され、将来に受け継がれている。

(1) 現状と取組の方向性

養沢神社より上流に位置し、比較的険しい斜面が多い地域です。全域が秩父多摩甲斐国立公園の区域に含まれており、豊かな森と水に恵まれ、大型の哺乳類をはじめとする多様な生きものが生息・生育しています。



地質的には、大岳鍾乳洞や小滝、チャートの露頭など、険しい斜面の多い地域ならではの地質的な見どころが多くあります。

植生は、大半がスギ・ヒノキ植林ですが、川沿いには一部ケヤキの大径木やカエデ林などがみられます。また、二次林は、およそ標高 800m を境に下部はコナラ林、上部はミズナラ林となっています。

動物は、ツキノワグマやヤマネなどの森林性の哺乳類のほか、都内では奥山でしかみられないヒダサンショウウオ、養沢鍾乳洞で初めて発見されたヨウザワメクラチビゴミムシなどがみられます。

生物多様性の状況や各取組の影響などについては、森林レンジャーによる調査を行います。

また、樹林地の豊かな生物多様性の保全・活用に向け、昔道・尾根道補修等事業を進めるとともに、清流のシンボルであるホタルの保全や森林生態系に被害をもたらすニホンジカや農作物被害をもたらす有害鳥獣などの対策に取り組みます。

さらに、特徴的な景観を生み出している地質的特長などの見どころを保全・活用するための取組を進めていきます。

(2) 取組（活動）

ア 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査

（ア）実施場所 上養沢地域全域

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
森林レンジャー	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、森林レンジャーが立ち入る森の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源としての活用）を想定

（ウ）実施内容

森林レンジャーによる生物の生息・生育状況調査や森の健全性調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

イ サルギ尾根登山道補修事業

（ア）実施場所 養沢地区 サルギ尾根（養沢神社から上高岩山展望台）

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
養沢自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は養沢地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

（ウ）実施内容

養沢神社から御岳山（青梅市）に通じる登山道において、路面補修や草刈り、案内標識の管理などを行い、樹林地における生物多様性の向上や生物多様性を活かした観光振興の足掛かりとします。

ウ 大野道補修事業

(ア) 実施場所 養沢地区 大野道

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
養沢自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は養沢地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

本市から御岳山（青梅市）に通じる古道「大野道」において、路面補修や草刈り、階段設置などを行い、先人達の暮らしを偲ぶとともに、樹林地における生物多様性の向上や生物多様性を活かした観光振興の足掛かりとします。

エ 養沢活性化委員会によるホタル繁殖事業

(ア) 実施場所 養沢川

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
養沢活性化委員会	○					観光まちづくり推進課

※ 市民は、養沢地区の地域住民を想定

※ 市は、実施主体への補助金の交付のほか、委員会やイベントへの参加を想定

(ウ) 実施内容

清流のシンボルであるホタルの飛翔がみられる養沢地区の養沢川において、地域住民によるホタルの保全や保護、ホタルイベントの開催を行い、生物多様性の向上や生物多様性を活かした観光振興の足掛かりとします。

オ ニホンジカ・ニホンザル防除事業

(ア) 実施場所 上養沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○	○	○	○	○	農林課

※ 連携団体は、猟友会が立ち入る森の所有者やニホンジカ・ニホンザルの生息状況などの情報提供者を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

(ウ) 実施内容

森林生態系被害をもたらすニホンジカや農作物被害などをもたらすニホンザルについて、猟友会との連携により、追い払いなどを行います。

カ 有害鳥獣対策事業

(ア) 実施場所 上養沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○		○			農林課

※ 連携団体は、農作物被害により対策を実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

(ウ) 実施内容

農作物被害をもたらすイノシシなどについて、猟友会や農と生態系を守り隊との連携のもと、電気柵の貸し出しや箱わなによる防除を行います。

キ 外来植物対策事業

(ア) 実施場所 上養沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生育情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来植物（オオキンケイギク、オオブタクサ、アレチウリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生育情報の収集や駆除などを行います。

ク 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業

(ア) 実施場所 上養沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生息情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

サクラ等を加害する外来生物（クビアカツヤカミキリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生息情報の収集や駆除などを行います。

ケ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

(ア) 実施場所 上養沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

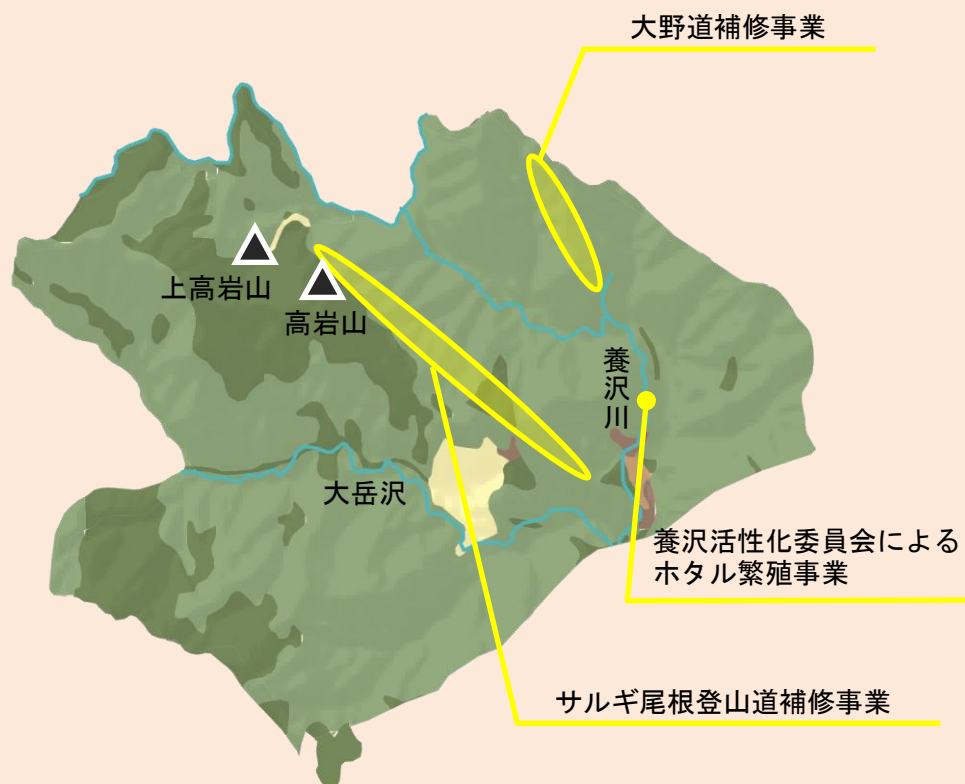
※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

(ウ) 実施内容

生態系の基盤となる大地などを保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、御岳沢や大岳沢周辺の滝、鍾乳洞、岩石の露頭などの地質的資源の価値や特性を活かした持続可能な活用を行い、地域の生態系の保全に向けた取組を行います。

上養沢地域取組図



上養沢地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ ニホンジカ・ニホンザル防除事業
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

2 戸倉・小宮地域

＜戸倉・小宮地域の望ましい姿＞

滝、鍾乳洞などの自然資源を活かした環境教育や観光産業が定着し、里山管理の担い手が増え、市内外からの観光客に対する滞在型のサービスを提供している。

（１）現状と取組の方向性

養沢川、秋川上流沿いに広がる地域で、大型の哺乳類をはじめとする多様な生きものが生息・生育しています。大半の地域が秩父多摩甲斐国立公園の区域に含まれており、滝や眺望の良い場所などの自然資源のほか、鍾乳洞（三ツ合鍾乳洞）が発達しています。

植生は、大半がスギ・ヒノキ植林ですが、養沢川、秋川の渓流沿いには、豊かな広葉樹林がみられます。

動物は、尾根付近でカモシカやキツネが確認されているほか、巨樹が残されている場所ではムササビが生息しています。また、絶滅が危惧されるヤマドリも確認されています。

景観などを目的としたハイカーが訪れるとともに、自然資源を活かした温泉施設、釣り場などのレジャー施設もあります。



生物多様性の状況や各取組の影響などについては、森林レンジャーによる調査を行います。

豊かな生物多様性の保全と活用に向け、昔道・尾根道補修等事業を進めるとともに、観光などへの活用も視野に入れた景観整備事業を推進します。また、清流のシンボルであるホタルの保全、森林生態系被害をもたらすニホンジカや農作物被害をもたらす有害鳥獣、生態系被害をもたらす外来種などの対策に取り組みます。

さらに、地域の自然環境に着目した環境教育や体験学習を推進し、人材育成を進めるとともに、特徴的な景観を生み出している地質的特徴などの見どころを保全・活用する取組を行い、生物多様性の保全につなげていきます。

旧戸倉小学校施設を活用した「秋川渓谷戸倉体験研修センター」は、ジオパーク構想の拠点機能を含め、地域の様々な自然と関わりあう生活を体験できる施設とします。また、地域の生態系と生活に関する体験プログラム等を通じて、生物多様性の重要性を体感できる施設にするとともに、生物多様性の取組を担う人材育成などを進めていきます。

(2) 取組（活動）

ア 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査

(ア) 実施場所 戸倉・小宮地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
森林レンジャー	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、森林レンジャーが立ち入る森の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源としての活用）を想定

(ウ) 実施内容

森林レンジャーによる生物の生息・生育状況調査や森の健全性調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

イ 軍道地区石原沢景観整備事業

(ア) 実施場所 軍道地内石原沢周辺（高明神社先）

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
軍道自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は小宮地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

馬頭刈山・高明山への登山道を再生し、人と森とのつながりを高めることで、樹林地における生物多様性の向上を図ります。また、溪流沿いに花木を植え、四季を通じて楽しめるなど、生物多様性を活かした地域の観光資源としての森づくりを進めます。

ウ 軍道地区まがめひろば景観整備事業

(ア) 実施場所 軍道地区まがめひろば

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
軍道自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は小宮地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

小宮ふるさと自然体験学校から馬頭刈山・高明山への登山道につながる道沿いの通称「まがめひろば」に花木を植え、四季を通じて楽しめるなど、生物多様性を活かした観光資源としての森づくりを進めます。

エ 乙津地内景観整備事業

(ア) 実施場所 乙津自治会内

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
乙津自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は小宮地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

山の斜面に植栽したサクラとミツバツツジを育成し、在来種を活かした観光資源としての森づくりを進めます。

オ 長岳尾根周辺景観整備事業

(ア) 実施場所 秋川溪谷瀬音の湯周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
自然を昔に戻す会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は「自然を昔に戻す会」の会員、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

山の斜面の危険木や灌木類を伐採し、イロハモミジやコナラなどの落葉広葉樹を育成することで、生物多様性を活かした観光資源としての森づくりを進めます。

※ 「自然を昔に戻す会」は、素晴らしい自然環境を次の世代に引き継ぐことを目的として、本市西部に位置する市街化調整区域の自治会などで組織する団体です。

カ 加茂原周辺景観整備事業

(ア) 実施場所 加茂原周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
落合自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は小宮地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

南斜面で檜原街道からの視認性が高い加茂原において、花木類を植え、草地における在来種を活かした見どころを創出し、観光振興の足掛かりとします。

キ 横根道補修事業

(ア) 実施場所 横根道

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
養沢自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は養沢地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

小宮地区から金比羅尾根につながる古道「横根道」の整備により、草地における生物多様性の向上や古道の復活による生物多様性を活かした観光振興の足掛かりとします。

ク 西青木平橋周辺景観整備事業

(ア) 実施場所 西青木平橋周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
青木平自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は小宮地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

秋川沿いの古道を整備し、人の手を森に入れやすくすることで、樹林地における生物多様性の向上を図るとともに、花木の植栽によりハイカーの更なる回遊を促すなど、生物多様性を活かした地域活性化を図ります。

ケ 二反坂周辺景観整備事業

(ア) 実施場所 寺岡二反坂周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
寺岡自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は小宮地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

二反坂周辺を整備し、花木を植えることで四季を通じて楽しめる見どころを創出し、秋川渓谷瀬音の湯などからの観光客の回遊を促すなど、生物多様性を活かした観光資源としての森づくりを進めます。

コ ホタルの里づくり推進事業（落合自治会ほたるの会）

(ア) 実施場所 養沢川 徳雲院周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
落合自治会 ほたるの会	○					環境政策課

※ 市民は、小宮地区の地域住民を想定

※ 市は、実施主体への補助金の交付を想定

(ウ) 実施内容

清流のシンボルであるホタルの飛翔がみられる徳雲院周辺において、地域住民によるホタルの保全や保護を行います。

サ ニホンジカ・ニホンザル防除事業

(ア) 実施場所 戸倉・小宮地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○	○	○	○	○	農林課

※ 連携団体は、猟友会が立ち入る森の所有者やニホンジカ・ニホンザルの生息状況などの情報提供者を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

(ウ) 実施内容

森林生態系被害をもたらすニホンジカや農作物被害などをもたらすニホンザルについて、猟友会との連携により、追い払いなどを行います。

シ 有害鳥獣対策事業

(ア) 実施場所 戸倉・小宮地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○		○			農林課

※ 連携団体は、農作物被害により対策を実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

(ウ) 実施内容

農作物被害をもたらすイノシシなどについて、猟友会や農と生態系を守り隊との連携のもと、電気柵の貸し出しや箱わなによる防除を行います。

ス 外来種対策事業

(ア) 実施場所 戸倉・小宮地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 市民は、箱わなの見回りなどを実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 事業者（企業）は、箱わなの見回りなどを実施する方を想定

※ 事業者（地場産業）は、猟友会、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 行政は、市と連携して対策に取り組む近隣市町村、東京都を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来種（アライグマ、ハクビシン）について、猟友会や農と生態系を守り隊などと連携し、捕獲などを行います。

セ 外来植物対策事業

(ア) 実施場所 戸倉・小宮地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生育情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来植物（オオキンケイギク、オオブタクサ、アレチウリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生育情報の収集や駆除などを行います。

ソ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業

(ア) 実施場所 戸倉・小宮地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生息情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

サクラ等を加害する外来生物（クビアカツヤカミキリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生息情報の収集や駆除などを行います。

タ 小宮ふるさと自然体験学校における体験学習の推進

(ア) 実施場所 小宮ふるさと自然体験学校

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○		○	○	○	環境政策課

※ 市民は、体験学習に訪れる市内の子ども達、体験場所の提供者、講師としての参加を想定

※ 事業者（地場産業）は、体験場所の提供者、講師としての参加を想定

※ 行政は、体験学習に訪れる近隣市町村を想定

※ 観光客・都民は、体験学習に訪れる市外の子ども達を想定

(ウ) 実施内容

旧小宮小学校を利用した小宮ふるさと自然体験学校において、市内外の子ども達を対象に、小宮地区の豊かな自然を活かした体験学習を行い、生物多様性の取組を担う人材を育成します。

チ 森林レンジャーあきる野による森の子コレンジャー活動の推進

(ア) 実施場所 戸倉・小宮地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
森林レンジャー	○		○			環境政策課

※ 連携団体は、森林レンジャーや森の子コレンジャーが立ち入る森の所有者を想定

※ その他、市民は、体験学習に参加する市内の子ども達を想定

(ウ) 実施内容

市内の子ども達から森の子コレンジャーを募り、環境教育につながる定期的な活動を行うことにより、森林レンジャーの知識や技術などを受け継ぐ人材を育成します。

ツ 秋川渓谷戸倉体験研修センターの運営

(ア) 実施場所 秋川渓谷戸倉体験研修センター

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
秋川渓谷戸倉体験研修センターの運営者	○	○	○		○	観光まちづくり推進課

※ 市民は、研修や体験活動の講師としての参加を想定

※ 事業者（企業）は、秋川渓谷戸倉体験研修センターの運営者を想定

※ 事業者（地場産業）は、秋川渓谷戸倉体験研修センターへの食材や体験場所、多摩産材の提供者、講師としての参加を想定

※ 観光客・都民は、研修や体験活動への参加者を想定

(ウ) 実施内容

旧戸倉小学校の施設を改修し、地域の自然と共存した暮らしのほか、自然・歴史・文化などの自然資源を最大限に活かした研修や体験活動を行える場として提供し、将来を担う子ども達をはじめ、多様な人材を育成する場とします。研修や体験を通じて、地域の生態系や生物多様性の保全の重要性を伝えます。

食の提供に当たっては、最も身近な生物多様性の恵みの活用である地産地消を進める観点から、地域で採れた食材の積極的活用を図ります。また、壁材の仕上げやテーブル・イスなどに用いられている多摩産材のPRを通じて、秋川流域の森林資源の活用を図り、森林整備にもつなげていきます。

テ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

(ア) 実施場所 戸倉・小宮地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

(ウ) 実施内容

生態系の基盤となる大地などを保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、秋川渓谷戸倉体験研修センターを拠点とし、秋川流域全体の様々な地形・地質（地層）などの見どころや学術的な価値を発信し、それらの価値や特性を活かした体験や教育等の普及啓発活動を推進することによって、生態系の保全につなげていきます。

さらに、城山（しろやま）の特徴的な地形・地質（地層）と地域の景観や歴史の成り立ちとの関係などを調査・研究し、地域資源の繋がりを発信することで、地域の生物多様性の持続的な保全・活用の循環と理解を生み出します。

ト 森林レンジャーあきる野によるアニマルサンクチュアリ活動

(ア) 実施場所 戸倉・小宮地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
森林レンジャー	○		○			環境政策課

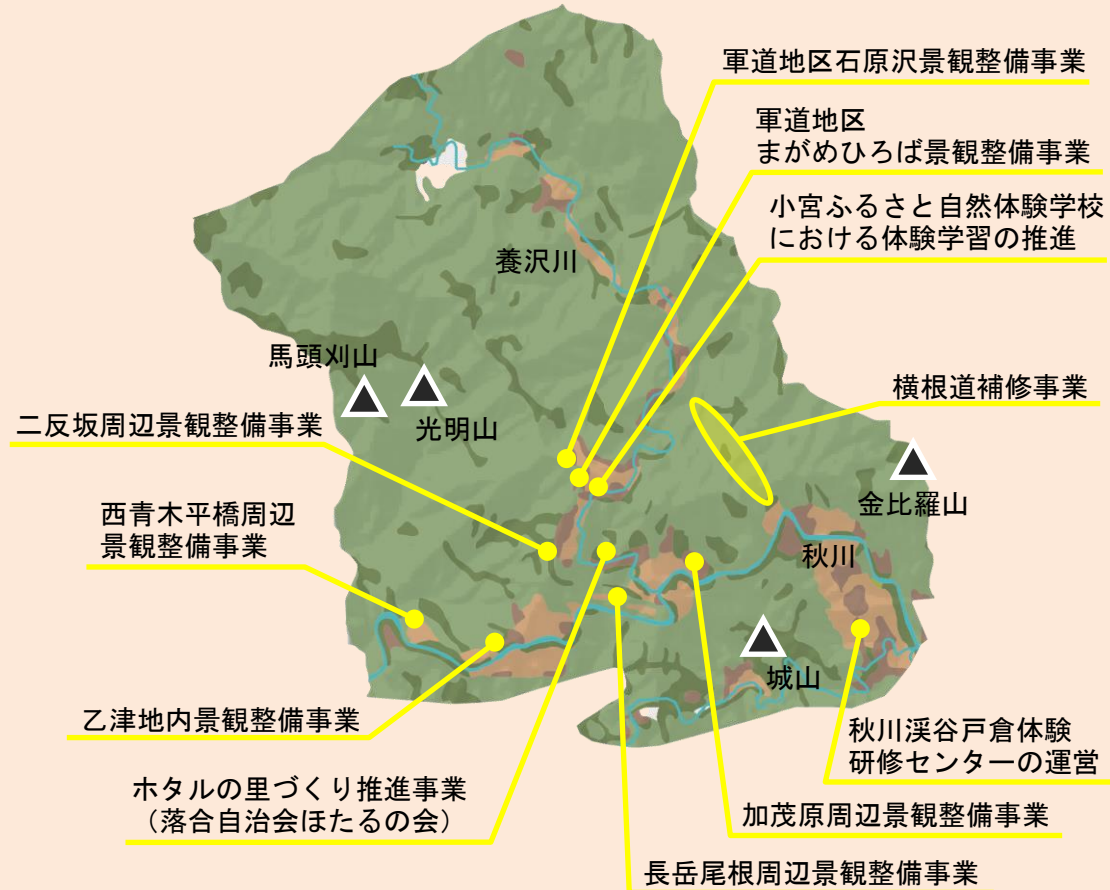
※ 連携団体は、森林レンジャーが立ち入る森の所有者を想定

※ その他、市民、事業者（地場産業）は、植樹の協力者、野生動物の餌となる農作物の所有者を想定

(ウ) 実施内容

森林レンジャーと地域住民を中心に、人と野生動物との共存を目指し、野生動物の生息状況の確認や餌となる堅果を实らせる落葉広葉樹（コナラなど）の植樹、餌となる農作物の早期採取といった普及啓発などを行います。

戸倉・小宮地域取組図



戸倉・小宮地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ ニホンジカ・ニホンザル防除事業
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 森林レンジャーあきる野による森の子コレンジャー活動の推進
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域
(地域循環共生圏)の形成（E ツーリズム推進事業）
- ・ 森林レンジャーあきる野によるアニマルサンクチュアリ活動

3 盆堀地域

< 盆堀地域の望ましい姿 >

手入れの行き届いた経済林から産出される木材のブランド化により林業が維持されるとともに、溪流や溪流沿いの森林では自然体験のためのプログラムが用意され、都心などからの観光客がエコツーリズムを通じて生物多様性の恵みを享受している。

(1) 現状と取組の方向性

盆堀川流域の経済林を中心とした地域であり、戸倉財産区として、スギ・ヒノキ植林のモデル的な森林施業が行われています。

また、新宿区との連携による「新宿の森・あきる野」や港区との連携による「みなと区民の

森」が整備されており、森林整備による二酸化炭素の吸収・固定量の増加や、自然体験学習、交流促進の場として、活用されています。

地質的には、四万十帯小仏層群の硬質な砂岩、泥岩などからなり、盆堀川が多数の溪谷を深く刻み、大小の滝などの溪谷美を形づくっています。

植生は、スギ・ヒノキ植林が大半を占めていますが、植林に適さない場所には、コナラ、クリなどの二次林も比較的大きな面積で残っています。二次林では、コナラが中心の構成ですが、市内のほかの落葉広葉樹林に比べて、ヒサカキやヤブツバキなどの常緑広葉樹の割合が多くなっています。溪流沿いにはダンコウバイ、ウワミズザクラ、オオバアサガラなどがみられます。

動物では、森の食物連鎖の頂点に立つクマタカが生息しています。クマタカの生息には、餌となる小動物の生息が必要であり、この地域の生物相が豊かであることの裏付けの一つとなります。溪流には、カワネズミやナガレタゴガエルのほか、湧き水から崖線沿いを流れる小川に生息するカジカなど、豊かな水環境を好む種が多くみられることも特徴の一つです。



生物多様性の状況や各取組の影響などについては、森林レンジャーや自然環境調査部会による調査を行います。

また、樹林地の豊かな生物多様性の保全・活用に向け、昔道・尾根道補修等事業や景観整備事業、他の地方公共団体などと連携した森づくりを進めるとともに、森林生態系被害をもたらすニホンジカや農作物被害をもたらす有害鳥獣などの対策に取り組みます。

さらに、地域の自然環境に着目した体験学習や環境教育を推進し、地域の魅力を発信するガイドの人材育成などに取り組むとともに、特徴的な地形に付随する貴重な生態系や景観の保全につながる取組を進めます。

(2) 取組（活動）

ア 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査

(ア) 実施場所 盆堀地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
森林レンジャー	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、森林レンジャーが立ち入る森の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源としての活用）を想定

(ウ) 実施内容

森林レンジャーによる生物の生息・生育状況調査や森の健全性調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

イ 日向峰道補修等事業

(ア) 実施場所 日向峰道周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
自然を昔に戻す会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は「自然を昔に戻す会」の会員、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

戸倉地区から八王子市方面への古道「日向峰道」において、道の整備や倒木処理を行い、先人達の暮らしを偲ぶとともに、樹林地における生物多様性の向上や生物多様性を活かした観光振興の足掛かりとします。

ウ 日向峰地内景観整備事業

(ア) 実施場所 日向峰道入口周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
自然を昔に戻す会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は「自然を昔に戻す会」の会員、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

古道「日向峰道」の入口に当たる秋川渓谷に沿った山林において、針葉樹から落葉広葉樹に樹種変換を行い、生物多様性を活かした観光資源としての森づくりを進めます。

エ ニホンジカ・ニホンザル防除事業

(ア) 実施場所 盆堀地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○	○	○	○	○	農林課

※ 連携団体は、猟友会が立ち入る森の所有者やニホンジカ・ニホンザルの生息状況などの情報提供者を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

(ウ) 実施内容

森林生態系被害をもたらすニホンジカや農作物被害などをもたらすニホンザルについて、猟友会との連携により、追い払いなどを行います。

オ 有害鳥獣対策事業

(ア) 実施場所 盆堀地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○		○			農林課

※ 連携団体は、農作物被害により対策を実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

(ウ) 実施内容

農作物被害をもたらすイノシシなどについて、猟友会や農と生態系を守り隊との連携のもと、電気柵の貸し出しや箱わなによる防除を行います。

カ 外来植物対策事業

(ア) 実施場所 盆堀地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生育情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来植物（オオキンケイギク、オオブタクサ、アレチウリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生育情報の収集や駆除などを行います。

キ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業

(ア) 実施場所 盆堀地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生息情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

サクラ等を加害する外来生物（クビアカツヤカミキリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生息情報の収集や駆除などを行います。

ク 自然環境調査部会による生物調査

(ア) 実施場所 盆堀地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
自然環境調査部会	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、自然環境調査部会が立ち入る場所の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源としての活用）を想定

(ウ) 実施内容

自然環境調査部会による生物の生息・生育状況調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

ケ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

(ア) 実施場所 盆堀地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

(ウ) 実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、「盆堀川」やその支流の美しい渓谷の景観など、地形・地質（地層）に裏打ちされた地域資源の保全・活用を通じ、地域の生態系の保全に向けた取組を行います。

コ 他の地方公共団体との連携による環境学習の推進

(ア) 実施場所 新宿の森・あきる野 及び みなと区民の森

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
森林レンジャー	○			○	○	環境政策課

※ 市民は、戸倉地区の地域住民や森の子コレンジャーを想定

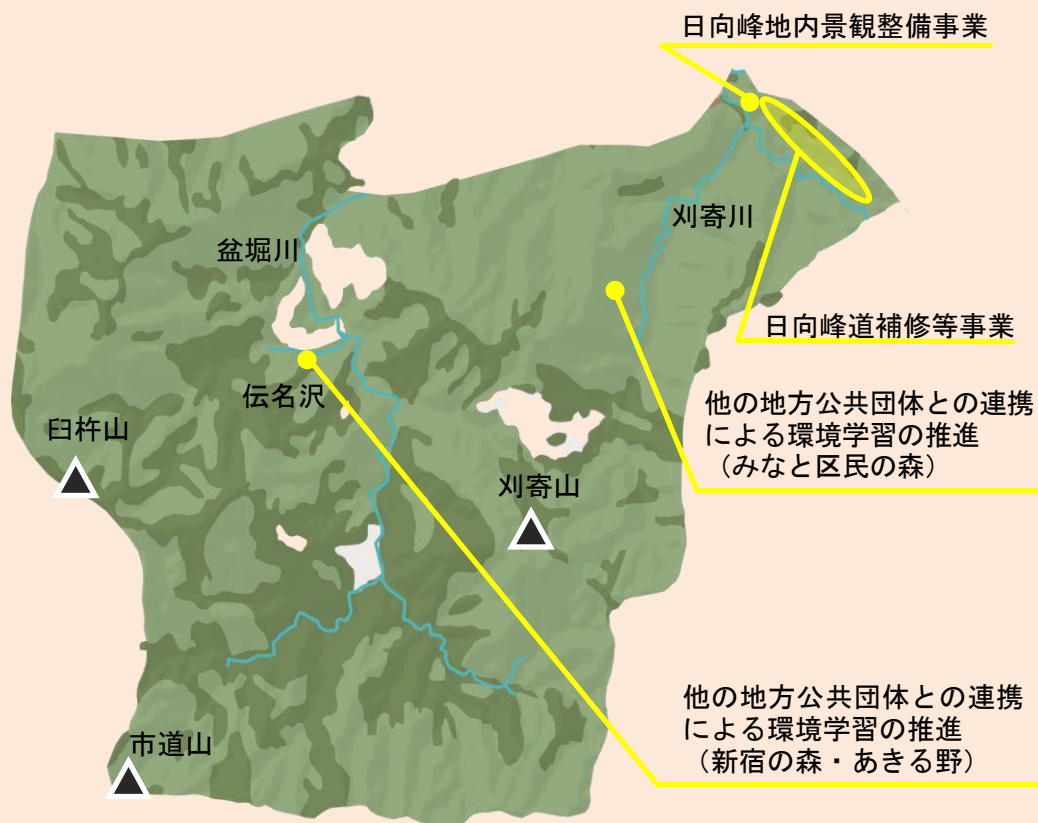
※ 行政は、市と連携して環境学習を実施する新宿区や港区を想定

※ 都民は、環境学習に訪れる新宿区や港区の子ども達を想定

(ウ) 実施内容

「新宿の森・あきる野」や「みなと区民の森」において、新宿区や港区と連携し、区民やその子ども達を対象に、森林レンジャーによる環境学習などを行います。

盆堀地域取組図



盆堀地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ ニホンジカ・ニホンザル防除事業
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境調査部会による生物調査
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

4 深沢地域

＜深沢地域の望ましい姿＞

「山抱きの大カシ」をはじめとする様々な地域資源の活用により観光客が増え、地域が活性化しているとともに、多様な主体の連携により、生物多様性に配慮した森づくりの推進や林業経営が実現されている。

(1) 現状と取組の方向性

深沢川に沿って広がる地域で、金比羅山へ緩やかに連なる金比羅尾根と深沢川によって刻まれた渓谷が特徴的です。

また、懐かしさを覚える茅葺（かやぶ）き屋根の家や地域の象徴である「山抱きの大カシ

（ウラジログシ）」、南沢あじさい山、深沢家屋敷跡などの地域資源を活かした観光振興による地域づくりの取組が進められています。

地質的には、中生代秩父層群からなり、鳥ノ巣石灰岩や石灰岩の上にそびえる「山抱きの大カシ」など、地域の象徴となる地形がみられます。

植生は、これまでの3地域と同様に大半がスギ・ヒノキ植林ですが、落葉広葉樹林の割合は比較的少なくなっています。尾根などにはウラジログシやモミなどの大木が残っています。

動物は、ノスリやモモンガ、サンコウチョウなどの森林性の種が生息しています。そのほか、良好な水環境が残されていることから、市域の他の水環境が豊かな地域と同様、東京都内で希少となっているヘイケボタルやゲンジボタルがみられます。

生物多様性の状況や各取組の影響などについては、森林レンジャーによる調査を行います。

生物多様性の保全や観光などへの活用に向け、「地域との協働による森づくり事業」による昔道・尾根道補修等事業や景観整備事業を推進します。

また、清流のシンボルであるホタルの保全に取り組むとともに、森林生態系被害をもたらすニホンジカや農作物被害をもたらす有害鳥獣、生態系被害をもたらす外来種などの対策に取り組みます。



さらに、石灰岩をはじめとするこの地域特有の地質的特徴などの見どころを保全・活用するための取組を進めていきます。

(2) 取組（活動）

ア 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査

(ア) 実施場所 深沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
森林レンジャー	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、森林レンジャーが立ち入る森の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源としての活用）を想定

(ウ) 実施内容

森林レンジャーによる生物の生息・生育状況調査や森の健全性調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

イ 大カシ・堀田尾根道整備事業

(ア) 実施場所 深沢地区 堀田尾根周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
深沢自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は深沢地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

深沢川沿いの地区と南沢地区をつなぐ尾根道を整備し、人の手を森に入れやすくすることで、樹林地における生物多様性の向上を図るとともに、散策路の回遊性を向上させ、深沢家屋敷跡、深沢小さな美術館、山抱きの大カシ、鳥ノ巣石灰岩産地、南沢あじさい山などの魅力ある地域資源を活かした森づくりを進めます。

ウ 大杉への探索路整備事業

(ア) 実施場所 深沢、大水地区

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
深沢自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は深沢地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

深沢川沿いから少し外れたところにある大杉への道を整備し、人の手を森に入れやすくすることで、樹林地における生物多様性の向上を図るとともに、深沢川周辺景観整備事業と合わせた観光資源となる森づくりを進めます。

エ 深沢川周辺景観整備事業

(ア) 実施場所 深沢川周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
深沢自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は深沢地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

各所に植栽している花木類の適正な管理を行うことにより、生物多様性の向上を図るとともに、四季折々の花木が楽しめる、観光資源としての森づくりを進めます。

オ 南沢地区景観整備事業

(ア) 実施場所 南沢地区

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
深沢自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は深沢地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

各所に植栽している花木類の適正な管理を行うことにより、生物多様性の向上を図るとともに、四季折々の花木が楽しめる、観光資源としての森づくりを進めます。

カ 堂沢周辺景観整備事業

(ア) 実施場所 堂沢周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
山下自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は五日市地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

休耕田とその周辺の森を整備し、花木などを植栽することで、生物多様性の向上と見どころの創出を図り、深沢地域に向かうハイカーの更なる回遊と地域活性化を図ります。

※ 実施主体の地域は、五日市・増戸地域になりますが、実施場所が深沢地域になるため、本地域に掲載しています。

キ 金比羅山接続登山道整備事業

(ア) 実施場所 樽沢から金比羅山登山道まで

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
樽自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は五日市地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

樽地区から金比羅山への登山道の整備を行うことにより、ハイカーや周辺住民の樽地区への回遊を図り、生物多様性の向上と地域活性化を図ります。

※ 実施主体の地域は、五日市・増戸地域になりますが、実施場所が深沢地域になるため、本地域に掲載しています。

ク ホタルの里づくり推進事業（深沢ほたるの会）

(ア) 実施場所 深沢地区 深沢川周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
深沢ほたるの会	○					環境政策課

※ 市民は、深沢地区の地域住民を想定

※ 市は、実施主体への補助金の交付を想定

(ウ) 実施内容

清流のシンボルであるホタルの飛翔がみられる深沢川周辺地区において、地域住民によるホタルの保全や保護を行います。

ケ ニホンジカ・ニホンザル防除事業

(ア) 実施場所 深沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○	○	○	○	○	農林課

※ 連携団体は、猟友会が立ち入る森の所有者やニホンジカ・ニホンザルの生息状況などの情報提供者を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

(ウ) 実施内容

森林生態系被害をもたらすニホンジカや農作物被害などをもたらすニホンザルについて、猟友会との連携により、追い払いなどを行います。

コ 有害鳥獣対策事業

(ア) 実施場所 深沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○		○			農林課

※ 連携団体は、農作物被害により対策を実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

(ウ) 実施内容

農作物被害をもたらすイノシシなどについて、猟友会や農と生態系を守り隊との連携のもと、電気柵の貸し出しや箱わなによる防除を行います。

サ 外来種対策事業

(ア) 実施場所 深沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 市民は、箱わなの見回りなどを実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 事業者（企業）は、箱わなの見回りなどを実施する方を想定

※ 事業者（地場産業）は、猟友会、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 行政は、市と連携して対策に取り組む近隣市町村、東京都を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来種（アライグマ、ハクビシン）について、猟友会や農と生態系を守り隊などと連携し、捕獲などを行います。

シ 外来植物対策事業

(ア) 実施場所 深沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生育情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来植物（オオキンケイギク、オオバタクサ、アレチウリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生育情報の収集や駆除などを行います。

ス 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業

(ア) 実施場所 深沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生息情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

サクラ等を加害する外来生物（クビアカツヤカミキリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生息情報の収集や駆除などを行います。

セ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

(ア) 実施場所 深沢地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

(ウ) 実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、鳥ノ巣石灰岩や石灰岩を抱くようにそびえる「山抱きの大力シ」、特徴的な植生などの保全・活用を通じ、地域の生態系の保全に向けた取組を行います。

深沢地域取組図



深沢地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ ニホンジカ・ニホンザル防除事業
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

5 五日市・増戸地域

＜五日市・増戸地域の望ましい姿＞

登山などの秋川渓谷観光の玄関口として、あきる野らしい自然である里山環境や秋川の溪流が保全・維持され、あきる野市の自然の魅力を発信するとともに、様々な活動主体が交流する場として機能している。また、生物多様性を活かした質の高い観光産業により、国内外の多くの人があきる野の魅力を認知している。

(1) 現状と取組の方向性

秋川中流部に位置する五日市盆地を含んだ地域であり、五日市街道や檜原街道に沿って、古くから集落が形成されました。

植生は、秋川右岸の丘陵にコナラ、クリなどの多様な樹種からなる雑木林がみられます。

また、一部でかつての氷河期の名残と考えられるカタクリの群落が分布するなど、地形の特徴が植生に現れている場所があります。

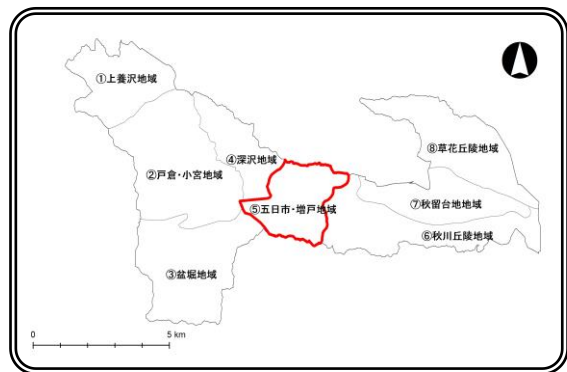
東京都内初の里山保全地域である横沢入は、スギ・ヒノキの植林が広い面積を占めているとともに、里山保全活動により復活した谷津田では、湿地性の植生がみられます。横沢入では、砂の堆積岩であり、かつては石臼に利用されていた伊奈石の採掘跡が現在も残されています。地質的な特徴と地域の生活と文化・歴史を感じられる場所となっています。

動物は、キツネやアオバズクのほか、タヌキ、アナグマなどがみられます。また、横沢入では、希少種であり絶滅が危惧されていたヤマトセンブリやホトケドジョウの生息が確認されています。

秋川沿いには、広い河原が広がっており、釣りやバーベキューなどに訪れる観光客が多数みられます。

生物多様性の状況や各取組の影響などについては、森林レンジャーや自然環境調査部会による調査を行います。

生物多様性の保全や観光などへの活用に向け、「地域との協働による森づくり事業」による昔道・尾根道補修等事業や景観整備事業を推進します。



また、森林生態系被害をもたらすニホンジカや農作物被害をもたらす有害鳥獣、生態系被害をもたらす外来種などの対策に取り組みます。

さらに、横沢入里山保全地域については、東京都を中心とした多様な主体の連携による保全活動などに参画を継続します。

(2) 取組（活動）

ア 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査

(ア) 実施場所 五日市・増戸地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
森林レンジャー	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、森林レンジャーが立ち入る森の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源としての活用）を想定

(ウ) 実施内容

森林レンジャーによる生物の生息・生育状況調査や森の健全性調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

イ 天竺山周辺散策道整備事業

(ア) 実施場所 天竺山周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
三内自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は増戸地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

三内神社、天竺山、横沢入、大悲願寺などを結ぶコースを整備し、歴史・文化資源を活かした、魅力あふれる散策路とします。また、老齢・巨大化した雑木林の手入れを行うなど、生物多様性の向上を図るとともに、利用者などの安全確保を図ります。

ウ 天竺山山頂周辺景観整備事業

(ア) 実施場所 天竺山山頂周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
三内自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は増戸地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

生物多様性に配慮しつつ、ベンチの設置などの整備や、景観の美化に努めることで、横沢入や大悲願寺からの観光客の回遊を図るとともに、四季を通じて楽しめるなど、生物多様性を活かした観光資源としての森づくりを進めます。

エ まいまい坂周辺景観整備事業

(ア) 実施場所 まいまい坂周辺

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
小机自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は五日市地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

慶応2年の武州打ちこわし一揆の一隊が、五日市の農兵隊などによる攻撃で敗退した歴史のある古道「まいまい坂」周辺において、花木の植栽を行うなど環境整備を進め、在来種などの動物が生息しやすい環境を整えることで、生物多様性の向上を図るとともに、歴史と文化の森づくりを進めます。

オ 高尾神社周辺尾根道整備事業

(ア) 実施場所 高尾神社から弁天山方面

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
高尾自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は五日市地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

高尾神社から高尾神社奥の院、網代地区の弁天山へと続く尾根道を整備し、歴史と文化を巡るハイカーの更なる回遊を促すとともに、生物多様性の向上や地域住民の健康づくりに資する尾根道として整備します。

カ 北郷いさぐり地区景観整備事業

(ア) 実施場所 伊奈字砂沼地区周辺の谷津田

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
北郷いさぐり会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は増戸地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

伊奈字砂沼地区の通称いさぐりと呼ばれる谷津田について、豊富な湧水による水辺環境を活用した地域の里山として整備することで、生物多様性に富んだ地域住民の憩いの場となる森づくりを進めます。

キ 有害鳥獣対策事業

(ア) 実施場所 五日市・増戸地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○		○			農林課

※ 連携団体は、農作物被害により対策を実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

(ウ) 実施内容

農作物被害をもたらすイノシシなどについて、猟友会や農と生態系を守り隊との連携のもと、電気柵の貸し出しや箱わなによる防除を行います。

ク 外来種対策事業

(ア) 実施場所 五日市・増戸地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 市民は、箱わなの見回りなどを実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 事業者（企業）は、箱わなの見回りなどを実施する方を想定

※ 事業者（地場産業）は、猟友会、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 行政は、市と連携して対策に取り組む近隣市町村、東京都を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来種（アライグマ、ハクビシン）について、猟友会や農と生態系を守り隊などと連携し、捕獲などを行います。

ケ 外来植物対策事業

(ア) 実施場所 五日市・増戸地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生育情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来植物（オオキンケイギク、オオバタクサ、アレチウリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生育情報の収集や駆除などを行います。

コ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業

(ア) 実施場所 五日市・増戸地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生息情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

サクラ等を加害する外来生物（クビアカツヤカミキリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生息情報の収集や駆除などを行います。

サ 自然環境調査部会による生物調査

(ア) 実施場所 五日市・増戸地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
自然環境調査部会	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、自然環境調査部会が立ち入る場所の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源としての活用）を想定

(ウ) 実施内容

自然環境調査部会による生物の生息・生育状況調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

シ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

(ア) 実施場所 五日市・増戸地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

(ウ) 実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、氷河期の名残といわれるカタクリの群落や化石を産出する地層など、地域環境の地史的変遷を示す地域資源の保全・活用を通じ、地域の生態系の保全に向けた取組を行います。

五日市・増戸地域取組図



五日市・増戸地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境調査部会による生物調査
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

6 秋川丘陵地域

＜秋川丘陵地域の望ましい姿＞

丘陵の里山が地域資源として活用されるとともに、崖線や河原は多様な生きものの移動経路として機能するように適正に維持・保全され、市民にあきる野を代表する景観として親しまれている。秋川は、多様な主体の連携により親水性がさらに高まるとともに、かつての姿を取り戻し、魚影が濃く、アユなどの天然の恵みを多くの人が享受している。

(1) 現状と取組の方向性

秋川丘陵と河岸段丘からなる地域で、地域の大部分が東京都立秋川丘陵自然公園に指定されています。

地質的には、新第三紀の砂層、粘土層、礫層を伴う軟岩層で構成されているとともに、秋川

による開析が進み、六枚屏風岩などの急崖や痩せ尾根などが特徴的です。また秋川の南部にある弁天山の山頂近くには、チャートの洞穴がみられます。

秋川は緩やかに流れ、砂礫地やヨシ、ツルヨシ、オギの群落が広がっています。秋川左岸には、崖線が形成され、ケヤキ、カシ類、スギ、ヒノキなどの樹林に竹林が縞模様のように入り込んでいます。また、植生は、コナラ、アオハダ、ヤマザクラが主な高木で、痩せ尾根の乾燥している地区では、ヒサカキなどの陰樹が林床を塞ぎ、草本の衰退がみられます。

切欠地区のカタクリ群落や、雨武主神社の朝日山北側斜面に広がるモミ・ツガ林は、本市の特徴的な植生の一つです。

動物では、比較的標高が高い針葉樹林内を主な繁殖場所とするウソや、秋川の下流域の川岸で生息記録の多いイタチ、水田や水路、湿地などの水辺で多くみられるトウキョウダルマガエルなどが生息しており、秋川丘陵地域がバリエーションに富んだ環境を持つことを示しています。

多くの集落が広がるとともに、秋川沿いには、幅のある河原が広がっており、釣りやバーベキューなどに訪れる観光客をはじめとして、市内最大の観光施設である東京サマーランドに訪れる観光客も多くみられます。



生物多様性の状況や各取組の影響などについては、森林レンジャーや自然環境調査部会による調査を行います。

生物多様性の保全や観光などへの活用に向け、「地域との協働による森づくり事業」による景観整備事業を推進します。

また、この地域は、秋川を中心に崖線上の湧水などの水環境が豊かであることから、生物多様性の向上に向け、清流のシンボルであるホタルのほか、湧水を中心とした特徴的な地形や生態系の保全に取り組みます。さらに、農作物被害をもたらす有害鳥獣や生態系被害をもたらす外来種などの対策に取り組みます。

(2) 取組（活動）

ア 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査

(ア) 実施場所 秋川丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
森林レンジャー	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、森林レンジャーが立ち入る森の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源としての活用）を想定

(ウ) 実施内容

森林レンジャーによる生物の生息・生育状況調査や森の健全性調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

イ 弁天山公園周辺景観整備事業

(ア) 実施場所 弁天山公園周辺及び城山へのハイキングコース

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
網代自治会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は増戸地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

弁天山公園周辺に植栽されている花木類の適正な管理を行うとともに、城山（じょうやま）へのハイキングコースの整備を行うことにより、ハイカーの更なる回遊を促し、観光資源としての森づくりを目指します。

※ 実施主体の地域は、五日市・増戸地域になりますが、実施場所が秋川丘陵地域になるため、本地域に掲載しています。

ウ ホタルの里づくり推進事業（一の谷地区ほたるの会）

(ア) 実施場所 一の谷地区 一の谷小学校周辺

(イ) 実施主体と連携団体

実施主体						市の所管課等
一の谷地区 ほたるの会	○					環境政策課

※ 市民は、引田地区の地域住民を想定

※ 市は、実施主体への補助金の交付を想定

(ウ) 実施内容

清流のシンボルであるホタルの飛翔がみられる一の谷小学校周辺において、地域住民によるホタルの保全や保護を行います。

エ ホタルの里づくり推進事業（南郷用水ホタルの会）

(ア) 実施場所 切欠地区 南郷用水周辺

(イ) 実施主体と連携団体

実施主体						市の所管課等
南郷用水ホタルの会	○					環境政策課

※ 市民は、雨間地区の地域住民を想定

※ 市は、実施主体への補助金の交付を想定

(ウ) 実施内容

清流のシンボルであるホタルの飛翔がみられる南郷用水周辺において、地域住民によるホタルの保全や保護を行います。

オ 有害鳥獣対策事業

(ア) 実施場所 秋川丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○		○			農林課

※ 連携団体は、農作物被害により対策を実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

(ウ) 実施内容

農作物被害をもたらすイノシシなどについて、猟友会や農と生態系を守り隊との連携のもと、電気柵の貸し出しや箱わなによる防除を行います。

カ 外来種対策事業

(ア) 実施場所 秋川丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 市民は、箱わなの見回りなどを実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 事業者（企業）は、箱わなの見回りなどを実施する方を想定

※ 事業者（地場産業）は、猟友会、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 行政は、市と連携して対策に取り組む近隣市町村、東京都を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来種（アライグマ、ハクビシン）について、猟友会や農と生態系を守り隊などと連携し、捕獲などを行います。

キ 外来植物対策事業

(ア) 実施場所 秋川丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生育情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来植物（オオキンケイギク、オオバタクサ、アレチウリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生育情報の収集や駆除などを行います。

ク 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業

(ア) 実施場所 秋川丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生息情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

サクラ等を加害する外来生物（クビアカツヤカミキリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生息情報の収集や駆除などを行います。

ケ 自然環境調査部会による生物調査

(ア) 実施場所 秋川丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
自然環境調査部会	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、自然環境調査部会が立ち入る場所の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源の活用）を想定

(ウ) 実施内容

自然環境調査部会による生物の生息・生育状況調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

コ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

(ア) 実施場所 秋川丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

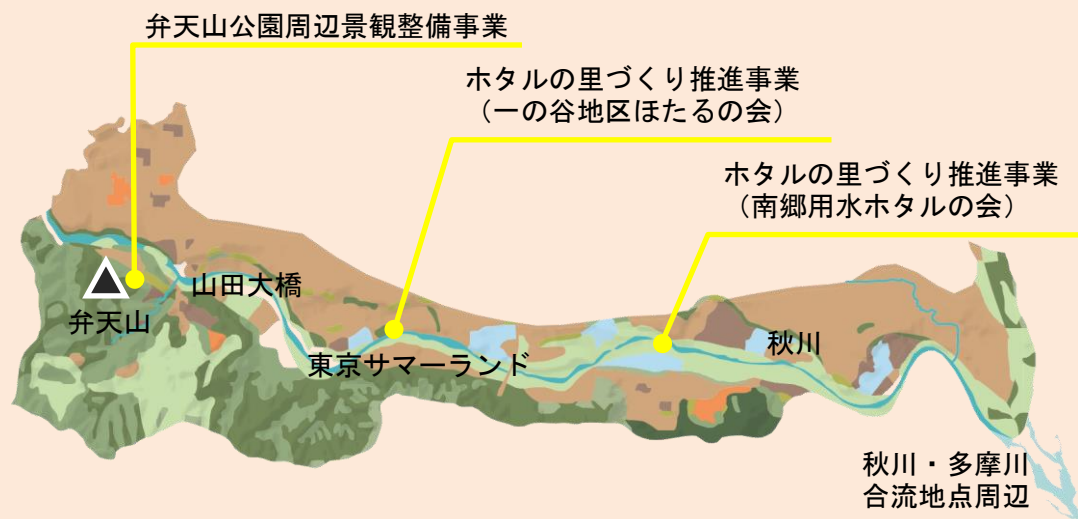
※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

(ウ) 実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、秋川丘陵と秋川との境界に分布する崖線には、「六枚屏風岩」などの様々な地形がみられる。その地質的資源の価値や特徴を活かした保全・活用を行い、地域の生態系の保全に向けた取組を行います。

秋川丘陵地域取組図



秋川丘陵地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境調査部会による生物調査
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

7 秋留台地地域

<秋留台地地域の望ましい姿>

崖線の雑木林や社寺林をつなぐように住宅地等の緑化が進められ、持続的な農業経営による農地とともに、緑地や草地などからなる緑のネットワークが維持、創出され、生物多様性の恵みが感じられる。

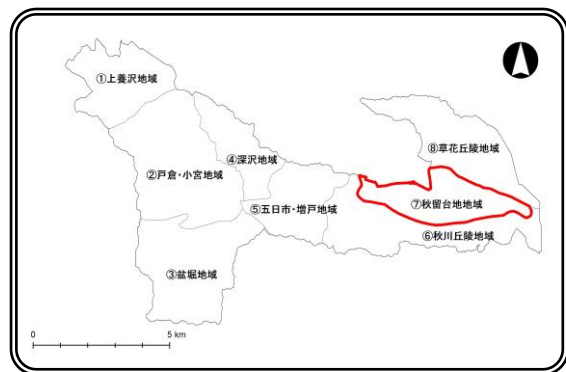
(1) 現状と取組の方向性

秋川と平井川に囲まれた地域であり、立川面と呼ばれる広大な平坦面で、関東ローム層が厚く堆積し、比較的乾燥した環境となっています。

平坦部の秋留台地は、古くから人間活動により改変されており、市街地のほか、畑作を中心とした農地が広がっています。

まとまった樹林は社寺林などに残されています。一方、草地環境は全国的な傾向と同様に減少傾向であり、公園や公共施設などの緑地と草地が地域の生物多様性の維持に重要な役割を果たしています。

動物は、丘陵地や河川敷などの草地、耕作地の環境を代表するチョウゲンボウやヒバリ、キジが生息しているほか、キツネなどもみられます。



生物多様性の保全に向け、農作物被害をもたらす有害鳥獣や生態系被害をもたらす外来種などの対策に取り組みます。また、今後の生物多様性の取組に向け、生物多様性の状況や各取組の影響などについて、自然環境調査部会による調査を行います。

さらに、平井川周辺においては、特徴的な景観を生み出している地質的特徴などの見どころを保全・活用する取組を行い、生物多様性の保全につなげていきます。

(2) 取組（活動）

ア 有害鳥獣対策事業

（ア）実施場所 秋留台地地域全域

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○		○			農林課

※ 連携団体は、農作物被害により対策を実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

（ウ）実施内容

農作物被害をもたらすイノシシなどについて、猟友会や農と生態系を守り隊との連携のもと、電気柵の貸し出しや箱わなによる防除を行います。

イ 外来種対策事業

（ア）実施場所 秋留台地地域全域

（イ）実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 市民は、箱わなの見回りなどを実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 事業者（企業）は、箱わなの見回りなどを実施する方を想定

※ 事業者（地場産業）は、猟友会、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 行政は、市と連携して対策に取り組む近隣市町村、東京都を想定

（ウ）実施内容

生態系被害をもたらす外来種（アライグマ、ハクビシン）について、猟友会や農と生態系を守り隊などと連携し、捕獲などを行います。

ウ 外来植物対策事業

(ア) 実施場所 秋留台地地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生育情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来植物（オオキンケイギク、オオバタクサ、アレチウリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生育情報の収集や駆除などを行います。

エ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業

(ア) 実施場所 秋留台地地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生息情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

サクラ等を加害する外来生物（クビアカツヤカミキリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生息情報の収集や駆除などを行います。

オ 自然環境調査部会による生物調査

(ア) 実施場所 秋留台地地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
自然環境調査部会	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、自然環境調査部会が立ち入る場所の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源としての活用）を想定

(ウ) 実施内容

自然環境調査部会による生物の生息・生育状況調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

カ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

(ア) 実施場所 秋留台地地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり推進課

※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

(ウ) 実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、秋川や平井川に侵食されたことによって形成された秋留台地や秋川との境界に分布する崖線、崖線上に分布する湧水とこれらの地形にみられる特徴的な地形や植生などを保全・活用し、生態系の保全を図ります。

秋留台地地域取組図



秋留台地地域全域での取組

- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境調査部会による生物調査
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

8 草花丘陵地域

＜草花丘陵地域の望ましい姿＞

様々な環境（森林、草地、水域など）のパッチがモザイク状に分布した景観が多様な主体により維持されるとともに、森づくりや地域づくりが進められている。人工改変地についても、人によって管理された生物多様性の高い草地、樹林として再生され、市民が身近に自然と触れ合える。

（１）現状と取組の方向性

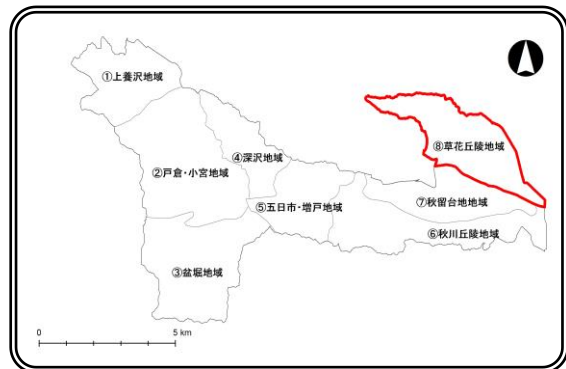
平井川の北側に位置する比較的起伏の大きい丘陵地（草花丘陵）と平井川の河岸段丘からなる地域で、新第三紀の丘陵性堆積物からなり、砂層、礫層、粘土層を含む軟岩層で構成されています。また、多摩川に接する地域の一部は東京都立羽村草花丘陵自然公園に含まれます。

この地域は、丘陵の自然と里山の自然があり、コナラやヤマザクラの高木林に、モミ、アカマツなどが点在する典型的な武蔵野の丘陵の景観となっています。

平井川の河川敷では、ヨシ群落やツルヨシ、オギ群落がみられ、カヤネズミなどの生息環境となっています。また、モミやマツなどの針葉樹林では、オオタカの繁殖も確認されています。さらに、平井川流域を中心に、絶滅が危惧されるツチガエルやホトケドジョウの生息もみられます。この地域は、トウキョウサンショウウオの基準産地としても知られており、両性類の生息に適した水環境の存在を裏付けています。

生物多様性の状況や各取組の影響などについては、森林レンジャーや自然環境調査部会による調査を行います。

この地域では、生物多様性の保全と地域活性化に向け、「地域との協働による森づくり事業」による昔道・尾根道補修等事業を推進するとともに、産学公の連携による森づくりや地域づくりを行います。また、清流のシンボルであるホタルの保全に取り組むとともに、農作物被害を



もたらす有害鳥獣、生態系被害をもたらす外来種などの対策に取り組めます。

さらに、地域の自然環境に着目した体験学習や環境教育を推進し、人材育成を進めるとともに、特徴的な景観を生み出している地質的特徴などの見どころを保全・活用する取組を行い、生物多様性の保全につなげていきます。

(2) 取組（活動）

ア 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査

(ア) 実施場所 草花丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
森林レンジャー	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、森林レンジャーが立ち入る森の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源としての活用）を想定

(ウ) 実施内容

森林レンジャーによる生物の生息・生育状況調査や森の健全性調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

イ 菅生北尾根周遊道整備事業

(ア) 実施場所 菅生地区北尾根道

(イ) 実施主体と連携団体

実施主体						市の所管課等
菅生町内会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は菅生地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

菅生地区を取り囲む尾根道について、案内標識の設置や路面の補修、倒木処理などを行い、人の手を森に入れやすくすることで、生物多様性の保全に向けた取組の足掛かりとします。

ウ 菅生南尾根周遊道整備事業

(ア) 実施場所 菅生地区南尾根道

(イ) 実施主体と連携団体

実施主体						市の所管課等
菅生町内会	○	○	○		○	環境政策課

※ 連携団体は、実施場所の所有者や森林サポートレンジャーとしての参加を想定

※ その他、市民は菅生地区の地域住民、市は実施主体への交付金の交付、森林レンジャーによる作業の安全管理としての参加を想定

(ウ) 実施内容

菅生地区を取り囲む尾根道について、案内標識の設置や路面の補修、倒木処理などを行い、人の手を森に入れやすくすることで、生物多様性の保全に向けた取組の足掛かりとします。

エ ホタル保全活動委託（菅生ホタルの里づくりの会）

(ア) 実施場所 圏央道菅生トンネル上部

(イ) 実施主体と連携団体

実施主体						市の所管課等
菅生ホタルの里づくりの会	○					環境政策課

※ 市民は、菅生地区の地域住民を想定

※ 市は、実施主体への委託を想定

(ウ) 実施内容

国土交通省から公園用地として占用を受けている圏央道菅生トンネル上部の緑地において、清流のシンボルであるホタルを保護するため、地域住民による「菅生ホタルの里づくりの会」にホタルの保全や保護活動を委託します。

オ 有害鳥獣対策事業

(ア) 実施場所 草花丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
農林課	○		○			農林課

※ 連携団体は、農作物被害により対策を実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ その他、事業者（地場産業）は、猟友会を想定

(ウ) 実施内容

農作物被害をもたらすイノシシなどについて、猟友会や農と生態系を守り隊との連携のもと、電気柵の貸し出しや箱わなによる防除を行います。

カ 外来種対策事業

(ア) 実施場所 草花丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 市民は、箱わなの見回りなどを実施する方、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 事業者（企業）は、箱わなの見回りなどを実施する方を想定

※ 事業者（地場産業）は、猟友会、農と生態系を守り隊の隊員を想定

※ 行政は、市と連携して対策に取り組む近隣市町村、東京都を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来種（アライグマ、ハクビシン）について、猟友会や農と生態系を守り隊などと連携し、捕獲などを行います。

キ 外来植物対策事業

(ア) 実施場所 草花丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生育情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

生態系被害をもたらす外来植物（オオキンケイギク、オオバタクサ、アレチウリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生育情報の収集や駆除などを行います。

ク 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業

(ア) 実施場所 草花丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境政策課	○	○	○	○		環境政策課

※ 連携団体は、生息情報の提供や所有地内の駆除を行う方を想定

(ウ) 実施内容

サクラ等を加害する外来生物（クビアカツヤカミキリ）について、町内会・自治会をはじめとして地域と連携し、生息情報の収集や駆除などを行います。

ケ 自然環境調査部会による生物調査

(ア) 実施場所 草花丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
自然環境調査部会	○	○	○	○	○	環境政策課

※ 連携団体は、自然環境調査部会が立ち入る場所の所有者や調査結果の活用者（情報交換、希少種の保護、地域資源としての活用）を想定

(ウ) 実施内容

自然環境調査部会による生物の生息・生育状況調査を行い、生物多様性の状況などを把握します。調査結果は取りまとめの上、生物多様性の取組にフィードバックします。

コ 森のようちえん部会による未就学児の体験学習

(ア) 実施場所 大澄山

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
環境委員会 森のようちえん部会	○					環境政策課

※ 市民は、体験学習に訪れる市内の子ども達を想定

(ウ) 実施内容

市内の未就学児を対象とする自然体験学習を行うことにより、本市の自然環境に関わるきっかけづくりを行い、生物多様性に関する理解や関心を深めます。

サ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）

(ア) 実施場所 草花丘陵地域全域

(イ) 実施主体及び連携団体

実施主体						市の所管課等
E ツーリズム検討会	○	○	○	○	○	観光まちづくり 推進課

※ 連携団体は、E ツーリズム検討会や人材育成講座などへの参加者や地域資源の保全・活用者を想定

(ウ) 実施内容

生態系の基盤となる大地を保全・活用するための調査・研究と取組を行うことにより、生物多様性の保全につなげていきます。

また、多摩川やその支流によって削られ深い谷を刻む地形、秋留台地と平井川との境界に分布する崖線、崖線上に分布する湧水とこれらの地形にみられる特徴的な地形や植生などを保全・活用し、生態系の保全を図ります。

シ 産学公による森づくり・地域づくり

(ア) 実施場所 菅生大沢地区

(イ) 実施主体と連携団体

実施主体						市の所管課等
あきる野菅生の森づくり協議会	○	○	○		○	環境政策課

※ 市民は、菅生地区の地域住民や人材育成講座などに参加する市民を想定

※ 事業者は、取組に参画する事業者や大学、NPO、菅生地区で採れた野菜を利用する市内の事業者を想定

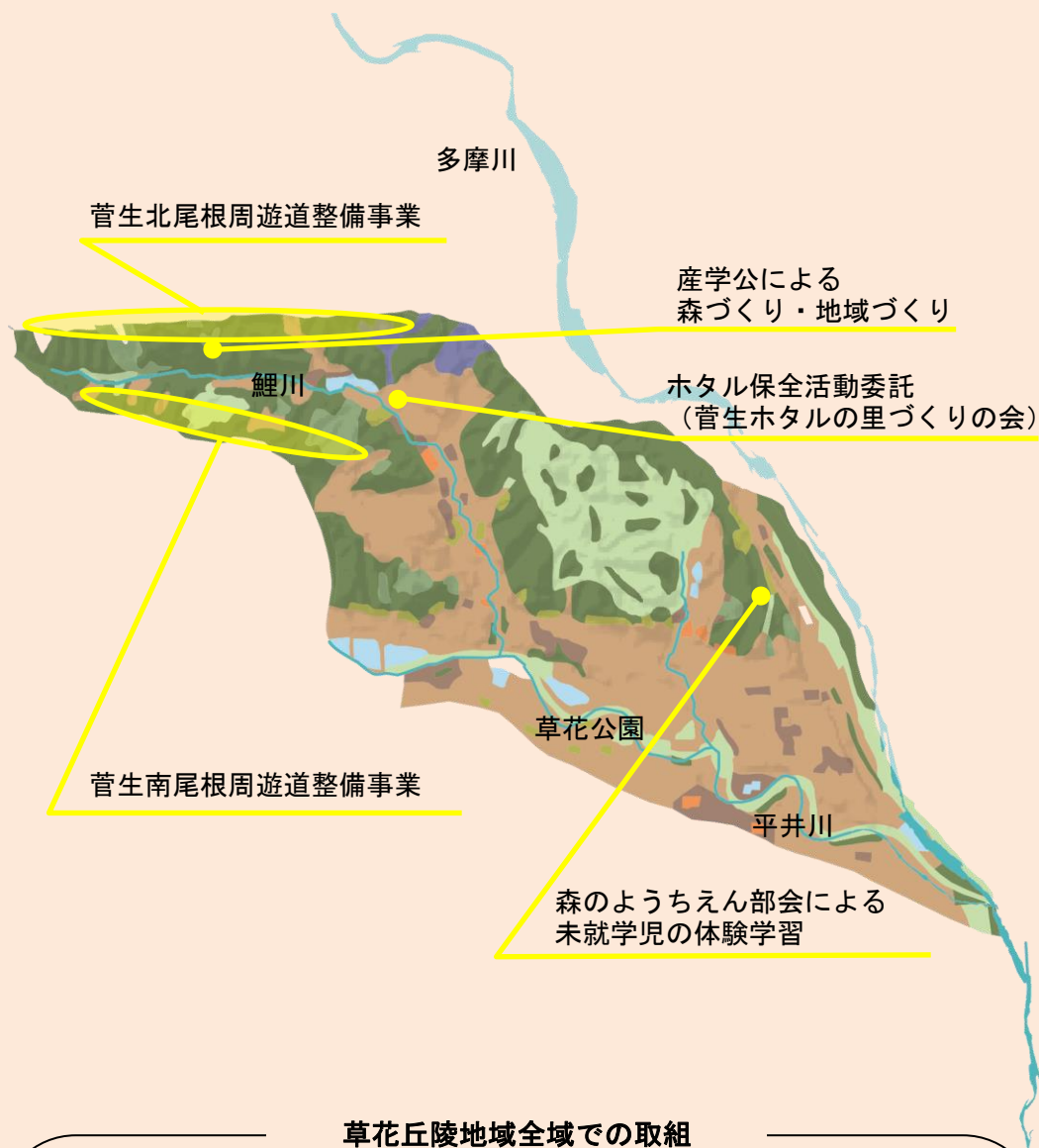
※ 都民は、人材育成講座などに参加する都民を想定

※ 市は、実施主体への負担金の交付のほか、主体の一つとしての参画を想定

(ウ) 実施内容

菅生地区の生物多様性の保全と地域活性化に向け、産学公の連携により設置された「あきる野菅生の森づくり協議会」による森づくりや地域づくりを行います。具体的には、菅生大沢地区の森の再生のほか、里山利用の復活、休耕地の活用による里地利用の復活（菅生野菜）、木こり講座などによる里山利用のための人材育成といった生物多様性につながる取組を進めていきます。

草花丘陵地域取組図



草花丘陵地域全域での取組

- ・ 森林レンジャーあきる野による生物調査及び森の健全性調査
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 外来種対策事業
- ・ 外来植物対策事業
- ・ 外来生物（クビアカツヤカミキリ）対策事業
- ・ 自然環境調査部会による生物調査
- ・ 自然環境の保全と地域経済の振興の両立による持続的に発展可能な地域（地域循環共生圏）の形成（E ツーリズム推進事業）